

NORHIRO NAKAE:
SCULPTURES AND
DRAWINGS

2017 **入場無料**
4.28金 ▶ 5.21日

■休館日:毎週月曜日(5月8日は開館)
■開館時間:午前9時30分~午後5時



《流れるカタチ》2016年



《春の風》2016年



《蜻蛉の孵化》
2013年

立体と平面の往還

中江紀洋展

会場:北海道立釧路芸術館 フリーアートルーム



《中国碑林への想い 敬愛する四書聖》2016年



《ひとやすみ》
2013年

主催:北海道立釧路芸術館、釧路新聞社
後援:釧路市教育委員会、FMくしろ

Kushiro Art Museum
芸術館

北海道立釧路芸術館

〒085-0017 釧路市幸町4-1-5
TEL.0154-23-2381 FAX.0154-23-2386
<http://www.kushiro-artmu.jp>

中江紀洋は、釧路を拠点に長年制作活動に携わってきました。これまで、「時」をテーマに有機的な形態の木彫に続き、廃材など、さまざまな素材を使った大規模なインスタレーションに取り組み、今日では北海道を代表する美術家のひとりとして高い評価を確立しています。

近年の中江の立体作品は、幼い頃から親しんできた道東地方の自然やそこに生息する動物や魚、昆虫などの生き物たちをはじめ、人間や社会の過去・現在・未来、さらには宗教的な世界など、さまざまなテーマにまなざしを向け、斬新な造形に昇華させています。それらは、具象的なものから、形態を単純化し象徴的に表現したもの、あるいは風刺的な意味合いを示唆するものまで、まさに多種多様で、近年の中江の熟達した制作技法と、磨き抜かれた感性が際立っています。

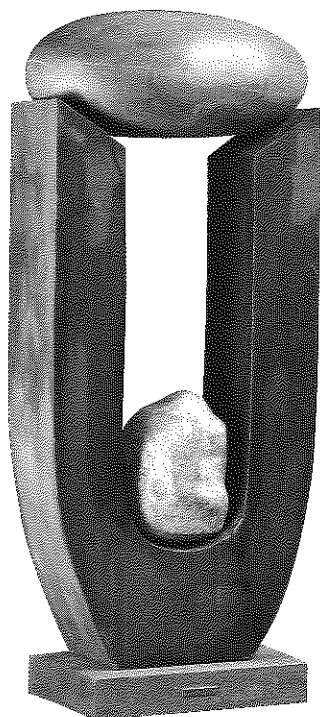
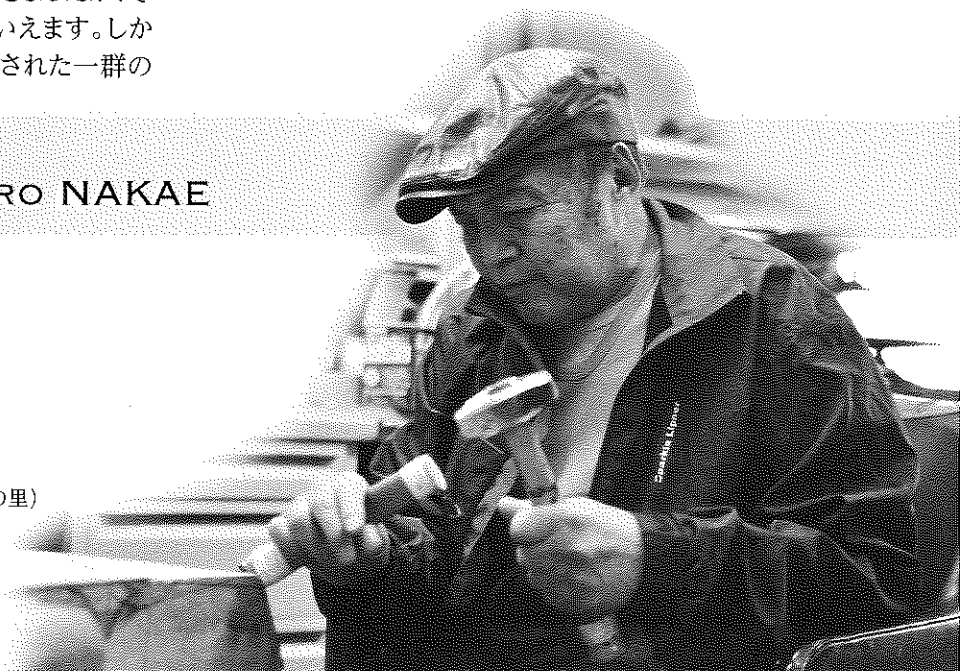
中江の立体作品は、初期からもっぱら色彩によらないモノクローム調のストイックなものでしたが、1990年中頃からは、徐々に彩色がほどこされたものもあらわれるようになります。立体作品と並行してドローイングの制作も初期から行ってきましたが、そうした傾向はドローイングについてもほぼ同様といえます。しかし、特筆すべきこととして、昨年(2016年)に制作された一群の

ドローイングには、赤や青、黄、緑といった鮮やかな色彩が大胆に用いられています。それらは、ジェッソで下地をほどこした合板に、ボールペンでダイナミックに描画し、水性のペンキや水彩絵の具を垂らし込むように盛り、表面をサンダーや紙やすりで削るなど、既成概念にとらわれない独自の手法が試みられ、これまでにない新たな展開として注目されます。中江は立体も平面も同じ感覚で制作すると言いますが、これら躍動感に満ちたドローイングの近作には、彫塑的な制作技法、また作品制作のテーマにおいても、立体作品と相通じるもの見て取ることができ、中江の「立体」と「平面」の間を「往還」しての制作姿勢が如実に示されているといえるでしょう。

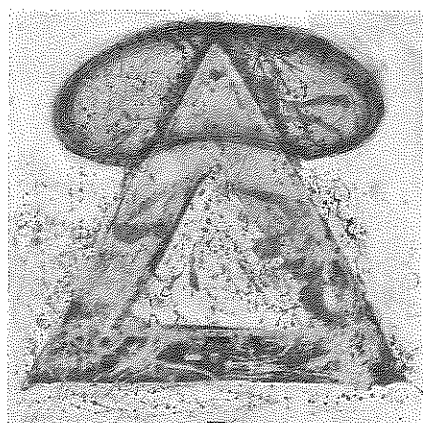
年齢的には70歳代半ばを迎えつつある中江紀洋。本展では、中江の衰えることのない旺盛な制作意欲と、思索的な深まりから生み出される、立体造形とドローイングの最近作を紹介します。近年ますます表現の幅を広げつつある中江紀洋の造形世界を、この機会にぜひご覧ください。

中江 紀洋 NORIHIRO NAKAE

- 1943年 釧路市に生まれる
- 1968年 武蔵野美術大学美術科彫刻専攻課程卒業
- 1976年 第31回全道展で全道美術協会賞受賞
- 1980年 '80自由美術展で平和賞受賞
- 1983年 「北方のイメージ-北海道の美術'83」で北海道立近代美術館賞受賞
- 1994年 個展(道立帯広美術館)
- 1996年 個展(阿寒国際鶴センター中庭、あかんランド丹頂の里)
- 2003年 個展(釧路市立美術館)
- 2010年 個展(道立近代美術館、札幌)
- 2011年 個展(道立釧路芸術館)
- 2015年 釧路市文化賞受賞
- 2016年 個展(コンチネンタルギャラリー、札幌)



《出口なし》2015年



《未来への一里塚》2016年

会期中のイベント

- アーティスト・トーク
「私の創作の原点」
5月14日(日) 午後2時~3時
出演/中江紀洋氏(本展出品作家)
聞き手/当館学芸員
会場/当館フリーアートルーム(入場無料)

【交通のご案内】

※来館者専用駐車場(8台)。満車の場合は、釧路錦町駐車場をご利用ください。駐車券を受付にご提示いただくと、割引の適用となります。

- JR釧路駅より徒歩で約15分(南へ約1.2km)
- くしろバス「十字街」「十字街7丁目」停留所下車、徒歩約5分
- 釧路空港より市内行き連絡バスで約50分、「フィッシャーマンズワープMOO」下車、徒歩約2分

北海道立釧路芸術館
〒085-0017 釧路市幸町4-1-5
TEL.0154-23-2381 FAX.0154-23-2386
http://www.kushiro-artmu.jp

【指定管理者】NIT 北海道グループ共同事業体
【施設設置者】北海道教育委員会
【北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 代表 TEL.011-231-4111】